事例No.	2439
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	宇治地域まちづくり推進委員会

事例区分	地域活性化

タグ	・地域運営組織 ・移住定住 ・関係人口

事例種類	移住・定住促進

事例内容・タイトル

住民総働のまちづくり～宇治町を次世代につなぐために～

出典

平成28年度優良事例表彰一覧

総務大臣賞

住民総働のまちづくり
～宇治町を次世代につなぐために～



平成 14 年から受け入れている兵庫県の中学校・高校の農業体験事業。生徒と受け入れ農家の心の触れ合いがあり、お互いに貴重な体験となっている。

事例の概要



納涼祭の準備で集まったみなさん。宇治地域の納涼祭は毎年多くの人で賑わっている

宇治町は高梁市の市街地から約 20 キロ離れた標高 350m 程度の高原地域で、農業が基幹産業であり、高原特有の気候を活かしたピオーネ栽培が盛んである。

平成元年の中学校統合以降、主に「都市との交流活動」をまちづくり活動の中心に据えて取り組んできたが、長年続く人口減少により、小学校の存続の危機、地域力の低下、担い手不足などの課題が深刻化している。

こうした中、宇治地域まちづくり推進委員会では、宇治町を次世代につないでいくため、住民意識の把握や共有を行いつつ、地域課題に対応した住民総働のまちづくりを目指し、取組を進めている。

今後のまちづくりの方向性を共有するための冊子や、災害時の連絡網となる全世帯が掲載された電話帳を全戸へ配布したほか、高齢者等の居場所づくりのための「宇治カフェ」の開催、農村型リゾート施設の運営、農業・農村体験事業などを通じた都市との交流活動等に積極的・継続的に取り組んでいる。また、移住者受入サポート体制を整備し、農業研修生等の移住者への支援を地域ぐるみで行っている。

評価のポイント

宇治地域では、中学校統合問題の際に、住民総出で反対運動に臨んだことを背景に、地域一丸で取組を行う機運が醸成されていた。また、1990 年代前半に県が進めた農村型リゾート整備事業等を通じ、都市農村交流の機会が増えていった。このような下地があり、旧高梁市時代に住民の自主的な活動の充実・強化を図ることを目的に、行政主導で進められたまちづくり推進委員会の設置も、比較的速やかに受け入れられた。

こうした地域性もあって、関西の中高校生を受け入れる農村民泊事業には、町内 300 戸のうち 40 ～ 50 戸が協力し、たかうねさくらの森公園の整備には、若手を中心に住民総出で植栽するなど、地域ぐるみの活動が展開している。また、移住者の受入支援も、地域住民によるサポート体制（住むか暮らす会）を作り、行政等との連携を図りながら、積極的な動きを見せている。

こうした中でも高齢化や人口減少は進み、地域行事を続けるにも負担の声が上がるようになってきた。そこで、宇治町の明日を考える会が中心となって、中学生以上の住民の意識調査を初めて実施し、「移住･定住の推進」、「行事仕分け」及び「高齢者の日常生活」の３つを取り組むべき柱に据えることになった。

そして、平成 27 年度から「宇治リスタート事業」として、暮らしやすい宇治地域を目指し、次世代に地域をつなぐ活動を進めている（「宇治町を次世代につなぐため」冊子を全戸配布、安全安心防災プロジェクトでの電話帳作成や納涼祭の見直しは象徴的）。

このように、地域としての活動を地道に継続しながらも、意識的に次のステージに展開させ、次世代に地域をつなごうと挑戦する姿勢は、地域運営組織の中でも先発的な要素を含んでいる。住民自らが地域を開いて、行政など外からのサポートも得ながらともに前進しようとする志を、過疎地域の地域づくりの王道として評価したい。



災害時の連絡網にもなる全世帯を掲載した電話帳【写真左】と今後のまちづくりの方向性を住民全体で共有するための冊子【写真右】を全世帯に配布した。



毎週木曜日に開催している「宇治カフェ」は、高齢者等が気軽に集える場所となり、高齢者を地域で支え合うモデル的な取組となっている。



移住者受入サポート体制が整備されており、空き家の片付けや引越しの手伝い、空き家周辺環境整備等を地域ぐるみで取り組んでいる。

DATA　岡山県 高梁市（たかはしし）

団体名▶宇治地域まちづくり推進委員会
所在地▶〒719-2232　岡山県高梁市宇治町宇治1690
連絡先▶TEL：0866-29-2001　FAX：0866-29-2266
E-mail:uji@city.takahashi.lg.jp　URL:http://uji-irodori.info/

【交通のご案内】
自動車▶岡山自動車道　賀陽ＩＣから約40分
中国自動車道　新見ＩＣから約40分
高梁市街地から国道313号線、県道85号線経由で約25分
鉄　道▶岡山駅から備中高梁駅まで
伯備線特急やくも利用で約35分、普通列車利用で約55分
飛行機▶岡山空港から高梁市街地までタクシー利用で約40分



▶国勢調査人口（単位：人）

昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年
68,494	47,013	41,077	38,799	34,963

▶人口増減率（単位：%）

H22/S35	H22/S55	H22/H12	H22/H17
-49.0	-25.6	-14.9	-9.9

▶高齢者・若年者比率（H22 年）（単位：%）

高齢者比率（65歳以上）	若年者比率（15歳以上30歳未満）
35.4	15.3